

令和8年度 第1回歯科口腔保健審議会 議事概要

◎ 日時

令和8年5月21日（木） 10時30分～11時40分

◎ 場所

さいたま市役所 議会棟2階 第6委員会室

◎ 出席者

《委員》 巻会長、新井委員、池田委員、大久保委員、桐生委員、椎名委員、
清水委員、真見委員、杉山委員、坪井委員、桑島委員

《事務局》 浅野保健部長 他

《傍聴人》 なし

◎ 欠席者

桐澤委員、武石委員、安井委員、脇之藪委員

◎ 会議資料

《事前配付》

- ・ 次第
- ・ 歯科口腔保健審議会委員名簿
- ・ 令和8年度第1回歯科口腔保健審議会関係課名簿
- ・ さいたま市歯科口腔保健審議会規則
- ・ 資料1 第2次さいたま市歯科口腔保健推進計画進行管理概要
- ・ 資料2 第2次さいたま市歯科口腔保健推進計画 数値目標の推移
- ・ 資料3 第2次さいたま市歯科口腔保健推進計画 令和8年度取組予定
- ・ 資料4 さいたま市障害者歯科相談医ガイドブックの改訂について
- ・ 資料5 (仮称) さいたま市口腔保健センターの進捗状況について

1 開会

議事録は、会長一任により承認いただき、公開することによろしいか。

《委員》 異議なし

2 議事

(1) さいたま市健康づくり計画（第2次さいたま市歯科口腔保健推進計画）の進行管理について

事務局より資料に基づき説明。

《資料》

- ・資料1 第2次さいたま市歯科口腔保健推進計画進行管理概要
- ・資料2 第2次さいたま市歯科口腔保健推進計画 数値目標の推移
- ・資料3 第2次さいたま市歯科口腔保健推進計画 令和8年度取組予定

<御意見・質疑>

巻会長：事務局から、令和7年度の実績と令和8年度の実績予定について説明があったが、関係団体に所属する委員からも説明をお願いしたい。さいたま市歯科医師会、浦和歯科医師会の報告を清水委員からお願いしたい。

清水委員：さいたま市歯科医師会では、教育委員会と歯と口に関する図画ポスターコンクールを行っている。また、各区での口腔機能向上フォローアップ教室や健口づくり交流会を毎年実施し、口腔機能の向上に寄与している。

浦和歯科医師会では口腔がん検診を年2回、約50から60名の検診を行っている。7月5日に開催するが、現在、150名弱の応募があり抽選となる。埼玉県立がんセンターの歯科口腔外科の口腔がん専門医の先生をお呼びして、浦和歯科医師会の会員とダブルチェックし、疑わしい病変があれば病院に紹介状を出している。3、4年やっているが、数例の口腔がんが発見されている。また、在宅分野での多職種連携研修やオーラルフレイルに関する市民公開講座を行っている。

巻会長：続いて、大宮歯科医師会の池田委員いかがか。

池田委員：大宮歯科医師会では、年1回市民向けのイベント「健口フェスティバル」をポスターコンクール、8020よい歯のコンクールと同時開催している。年2回の市民公開講座や北区区民まつりでの啓発も好評。また、浦和歯科医師会の口腔がん検診の視察を行い、今後、大宮歯科医師会でも実施にむけて計画している。

巻会長：与野歯科医師会の坪井委員いかがか。

坪井委員：与野歯科医師会では、8020 よい歯の審査会、児童生徒の 8020 よい歯のポスター審査会を行っている。障害者施設での検診・口腔ケアは、利用者のみでなく保護者の方にも、口腔ケアの大切さを伝えている。

巻会長：続いて、さいたま市薬剤師会桐生委員にお願いします。

桐生委員：さいたま市薬剤師会では、研修会の実施や地域サロン（地域包括や薬局）での健康相談・口腔に関する啓発、薬物乱用防止キャンペーンの中でオーラルフレイルの周知を行っている。

巻会長：続いて、埼玉県歯科衛生士会大久保委員いかがか。

大久保委員：幼稚園、小学校、中学校の教育では、それぞれの年齢に応じた指導内容が課題である。幼稚園、小学校では、むし歯予防の口腔ケアを行っているが、食事の機能の面で、ポカン口の方が多いと感じているので、それを踏まえた指導をしている。中学校に関しては、歯周病に関する指導を中心に行っているが、現場で指導していると、口を大きく開いて、鏡で歯肉や歯を見るという習慣があまりできていないと感じている。大きく口を開くということが、思春期の生徒にとって恥ずかしいという状況がみられるので、そこも踏まえて、口を見て、歯を見て、歯肉を見てブラッシングすることの大切さを伝えている。また、課題として、噛むこと、口腔機能についても中学校の口腔指導の中に取り入れていければいいかと思っている。障害のある方については、それぞれの施設と相談しながら、その施設に通っているお子さんの状況に合わせた方法で、口腔ケアの指導や口腔機能の体操などを行っている。また、高齢者については、主に口腔機能の維持・向上に重点を置いた指導を行っている。具体的には、口を閉じる筋肉を鍛えることや、舌の体操などを通じて飲み込みの力を高め、誤嚥予防につなげる指導をしている。今年度は、誤嚥を防ぐという視点だけでなく、「どう噛めば栄養につながるか」といった食べ方の工夫についても取り入れていく。さらに、今年度は埼玉県で開催される「ねんりんピック」で、歯科医師会の先生方と保健指導を実施する予定である。

巻会長：さいたま市社会福祉事業団の真見委員いかがか。

真見委員：事業団では、児童センターや障害者施設、高齢者施設、老人福祉センターを運営している。児童センターでは歯科衛生士による講話やブラッ

シング指導を行っており、保護者の方からも好評をいただいている。障害者の通所事業所では、毎年歯科医師による検診とブラッシング指導を実施していて、利用者の方はご自身でみがくのが難しい場合も多いため、とてもありがたいという声をいただいている。今年度も引き続き歯科医師会にご協力いただきながら進めていきたい。

巻 会 長：全国健康保険協会埼玉支部の脇之菌委員は、本日欠席のため、資料3において取組を確認いただきたい。

清水委員：口腔がん検診について少し補足する。現在は集団検診という形で実施していて、大宮歯科医師会や与野歯科医師会の先生方にも参加や見学をしていただきながら、内容を共有している。今はボランティアに近い形でやっているが、将来的には成人歯科健診の一つとして、口腔がん検診も個別に各歯科医院で受けられるようにしていけたらと考えている。そのためには、各会員の先生方に知識や技術、経験を積んでいただくことが必要なので、こうした集団検診を通じてスキルアップにつなげ、体制づくりを進めていきたい。

巻 会 長：市の関係課、各団体からの説明を受けて、御意見や御質問があれば、発言していただきたい。新井委員いかがか。

新井委員：成人歯科健診の受診率が上がっているという説明があったが、なぜ上がっているのかは確認されているのか伺いたい。

健康支援課：昨年度の取り組みとして、勸奨通知のほかに、市ホームページ、市報、SNS、テレビ、ラジオ、デジタルサイネージといった各種媒体を駆使し周知活動を行った結果、受診者数が伸びているのではないかと考えている。また、訪問歯科健診の周知として、介護保険の要介護3以上の方の認定通知に訪問歯科健診のチラシを同封している。さらに、昨年度より受付方法を変更し、実施医療機関で受付可能としたことで実績が伸びたと分析している。

新井委員：今後、新たな取り組みの予定はあるか。

健康支援課：令和8年度については、昨年度同様の取り組みで、歯科健診の普及啓発に努めていく。

巻 会 長：歯科医師会では年に1回、健診内容や健診方法についての講習会を開催

し会員に周知徹底を図っている。行政には引き続き健診の周知についてお願いしたい。他に椎名委員いかがか。

椎名委員：歯周病予防の対策が課題だと思うが、教室や啓発だけでなく、歯科健診受診でポイントを付与するなど事業所による取り組みや、健診後の動画配信やLINE等による継続的なフォローなど、行動変容につながるようなもう少し積極的な予防対策ができると良いと思う。

事務局：働き盛り世代の歯周病予防として、令和7年度より協会けんぽ埼玉支部と連携し、メルマガを活用した啓発を始めたところである。今後も継続的に実施し、自分の口の状態へ関心を持っていただき、歯科受診の意識の向上につなげていきたい。

巻会長：杉山委員いかがか。

杉山委員：さいたま市は小学校などでむし歯予防について熱心に取り組んでいると感じている。先程、大久保委員の話にもあったように、幼稚園、小学校、中学校とライフステージごとに課題も変わってくるが、噛む力が弱まっていると感じている。ポカン口につながっていると思うので、そのことについてもう少しプラスして指導できると良いと思う。

大久保委員：それぞれのライフステージに合わせて、事故なく食べられて、しっかりと発語ができて、表情が豊かになるような、そういった支援ができたらと考えている。教室において、今年度から工夫して取り組んでいこうと思っている。

巻会長：他に御意見のある委員はいるか。

全委員：意見なし。

巻会長：事務局においては、引き続き着実な進行管理をお願いする。

(2) さいたま市障害者歯科相談医ガイドブックの改訂について

事務局より資料に基づき説明。

《資料》

・資料4 さいたま市障害者歯科相談医ガイドブックの改訂について

<御意見・質疑>

巻 会 長：この情報シートはこれまでしっかり作り込まれていて内容も十分だと思うので、特にご意見がなければこの内容で進めてよろしいか。

椎名委員：ガイドブックの内容自体は良いと思うが、市のホームページに掲載されている PDF 形式の資料は検索のしやすさを考えると、PDF をそのまま掲載するのではなく、地域や条件で検索できるように改善されると良いのではないかと思う。もう一点、ウェブ上で検索できるような形で掲載できたら、二次元コードでウェブに誘導する形にすれば、冊子を作成するコストも削減できると思う。また、2年に1回の情報更新も、医院ごとにサイトへのアクセス権があれば、即座に更新できて良いのではないか。

巻 会 長：ウェブ化というのも手段の一つではあると思うが、それについていけない方もいるため、冊子は冊子で必要だと思う。また、情報の更新は各医院で行うと、それをチェックすることが難しくなってしまうので、検討する必要があるかと思う。事務局はいかがか。

事 務 局：御意見を踏まえ、市ホームページ上でどのようなことができるか確認し、対応を検討していく。

巻 会 長：それでは議事2について、事務局は改訂に向け作業を進めていただきたい。

3 報告

(1) (仮称)さいたま市口腔保健センターの進捗状況について

事務局より資料に沿って報告。

《資料》

・資料5 (仮称)さいたま市口腔保健センターの進捗状況について

巻 会 長：歯科医師会としてもぜひ協力して、ハード面・ソフト面ともに充実した運営ができればと考えている。

事 務 局：事務局からの報告は以上だが、委員より追加があればお願いしたい。

巻 会 長：歯科医師会より2点確認事項がある。1点目は、埼玉県基金事業に

ついて、どのような対応になっているか伺いたい。

事務局：今後とも歯科医師会の先生方の話を伺いながら、引き続き協議していく。

巻会長：2点目は、さいたま市の病院歯科（口腔外科）の休日や夜間の救急対応の体制が最近後退しているということ、さいたま市歯科医師会の理事会で聞いている。歯科医師会としても、深夜や休日に患者を診ている先生方もいるが、そういった時に骨折や出血等で緊急の事態が起こった時に、紹介できる二次医療機関がないという事態が起こることが考えられる。今後、この二次医療機関の緊急医療体制について、さいたま市と相談していきたいと思っている。

事務局：市のどの部署が対応していくのかを含め確認が必要である。今後、詳しく話を伺いたい。

4 部長挨拶

5 閉会